

第1回 関西リビングウイル研究会

～認知症の終末期医療を考える～ シンポジウム

平成37年には認知症の人が約700万人に達するとの推計があります(厚労省今年1月発表)。これは、65歳以上の高齢者の5人に1人に当たります(65歳以上の認知症の人は、平成24年で約462万人)。このように今後、急速に増えていく事が予想されています。

今後、認知症と尊厳死については避けて通れない大きな課題です。この難しいテーマに挑戦して考える研究会です。

医師・看護師・ヘルパー・ケアマネなど医療関係者の皆さまのご参加をお待ちしています。

日時:平成27年7月12日(日) 14時～16時

場所:ニュー オオサカホテル 2階 淀の間

定員:250名 参加費無料



長尾 和宏

【プログラム】

司会:小澤 和夫(一般財団法人日本尊厳死協会関西支部理事、事務局長)

挨拶:長尾 和宏

(一般財団法人日本尊厳死協会副理事長、関西支部支部長、長尾クリニック院長)

① シンポジウム「認知症の終末期を考える」

シンポジスト:

大國 康夫さん

(社会福祉法人協同福祉会常務理事「あすなら苑」苑長)

片岡 知紀さん

(リッスンケアセンター総合施設長、社会福祉士、介護福祉士、奈良県認知症介護指導者)

丸尾 多重子さん

(NPO法人つどい場さくらちゃん理事長)

辻 文生

(一般財団法人日本尊厳死協会関西支部理事、市立吹田市民病院呼吸器・アレルギー内科部長)



大國 康夫さん



片岡 知紀さん

② 会場との意見交換会



丸尾 多重子さん



辻 文生

共催:一般財団法人日本尊厳死協会関西支部・ケアネット尼崎

後援:大阪府,大阪市,社会福祉法人大阪府社会福祉協議会、

近畿老人福祉施設協議会、

認知症介護指導者大府ネットワーク(近畿西・近畿東ブロック)

会場の地図・お申込みは裏面をご覧ください

7月12日(日) 14時～16時 第1回関西リビングウイル研究会
～認知症の終末期医療を考える～



会場：
ニュー オオサカホテル 2階
淀の間

大阪市淀川区西中島5丁目14-10

新幹線新大阪駅
1階正面玄関から徒歩3分。
地下鉄御堂筋線⑦出口から1分

《参加申込方法》

「FAX」「Eメール」「はがき」にて受け付けております。

ご応募は定員になり次第、申込み終了とします。

個人情報とは申込受付と定員に達した場合のお断りの連絡に使用する以外の目的には一切使用いたしません。

★Eメール：kansai@songenshi-kyokai.com (☑関西支部ホームページからでもできます)
件名に「7月12日 リビングウイル研究会参加希望」として、本文には下記4点をご記入ください。

1. 氏名(ふりがな) = 複数でのご参加の場合は参加人数もご記入ください
2. 住所〒
3. 電話番号
4. 職業(医師、看護師、介護職、その他)

★はがき：〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-46 新大阪北ビル702

日本尊厳死協会 関西支部

「7月12日 研究会参加希望」とお書きいただき、下記4点もご記入ください。

1. 氏名(ふりがな) = 複数でのご参加の場合は参加人数もご記入ください
2. 住所〒
3. 電話番号
4. 職業(医師、看護師、介護職、その他)

★FAX：06-4866-6375

こちらの申込み用紙に必要事項をご記入の上、送信ください。

FAX申込用紙

(代表者)氏名	参加人数 名	職業：医師・看護師・介護職・(○してください) その他()
住所	電話番号	